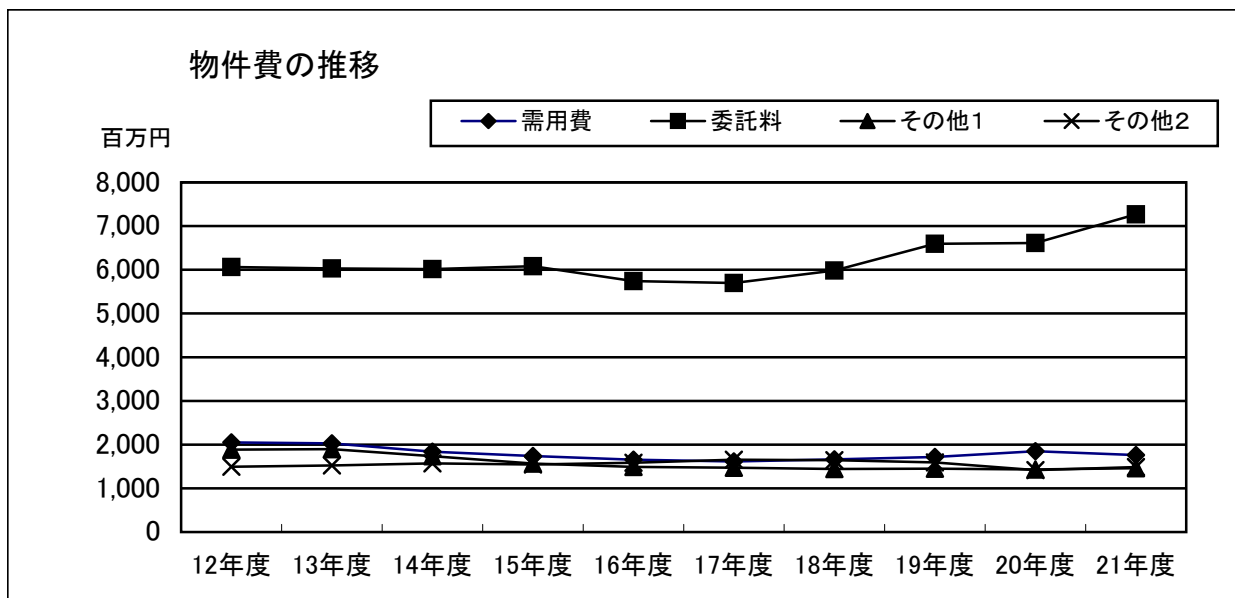


15. 物件費の推移

物件費は、平成12年度から17年度にかけては減少で推移してきたが、平成18年度以降増加傾向となり、平成20年度に再び減に転じたが、平成21年度は前年度に比べて約6億7千万円の増となった。

物件費の内訳を需用費（消耗品費、印刷製本費、光熱水費等）と委託料及びその他1（賃金・旅費・交際費・役務費・備品購入費）、その他2（使用料及び賃借料・原材料費）に分けてグラフ化したものである。

物件費全体では、平成20年度に比べて約6億7千万円の増となっている。これは、委託料における、台東病院やことぶきこども園開設による指定管理料の増などが主な要因である。



単位：百万円

区 分	12年度	13年度	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	21年度
物 件 費	11,491	11,475	11,159	10,933	10,471	10,439	10,731	11,352	11,309	11,978
需 用 費	2,049	2,027	1,837	1,740	1,656	1,615	1,661	1,717	1,848	1,761
委 託 料	6,062	6,029	6,016	6,083	5,742	5,696	5,984	6,595	6,612	7,268
そ の 他 1	1,886	1,897	1,734	1,566	1,489	1,472	1,442	1,449	1,432	1,462
そ の 他 2	1,494	1,522	1,572	1,544	1,584	1,656	1,644	1,591	1,417	1,487

需用費：消耗品費・燃料費・食糧費・印刷製本費・光熱水費・修繕料

その他1：賃金・旅費・交際費・役務費・備品購入費

その他2：使用料及び賃借料・原材料費